

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

**\* 1929年(昭和4年)1月～1930年(昭和5年)4月の湿度計記録発見  
(レプソルド子午儀室床下探検)**

アーカイブ新聞第989号からレプソルド子午儀室床下の探検で発見された記録用紙について記事を書いている。今回は1929年(昭和4年)1月7日～1930年(昭和5年)4月6日にわたる湿度計の記録54枚である。完全にはそろっていないが、図1が、この記事を書くために並べたものである。

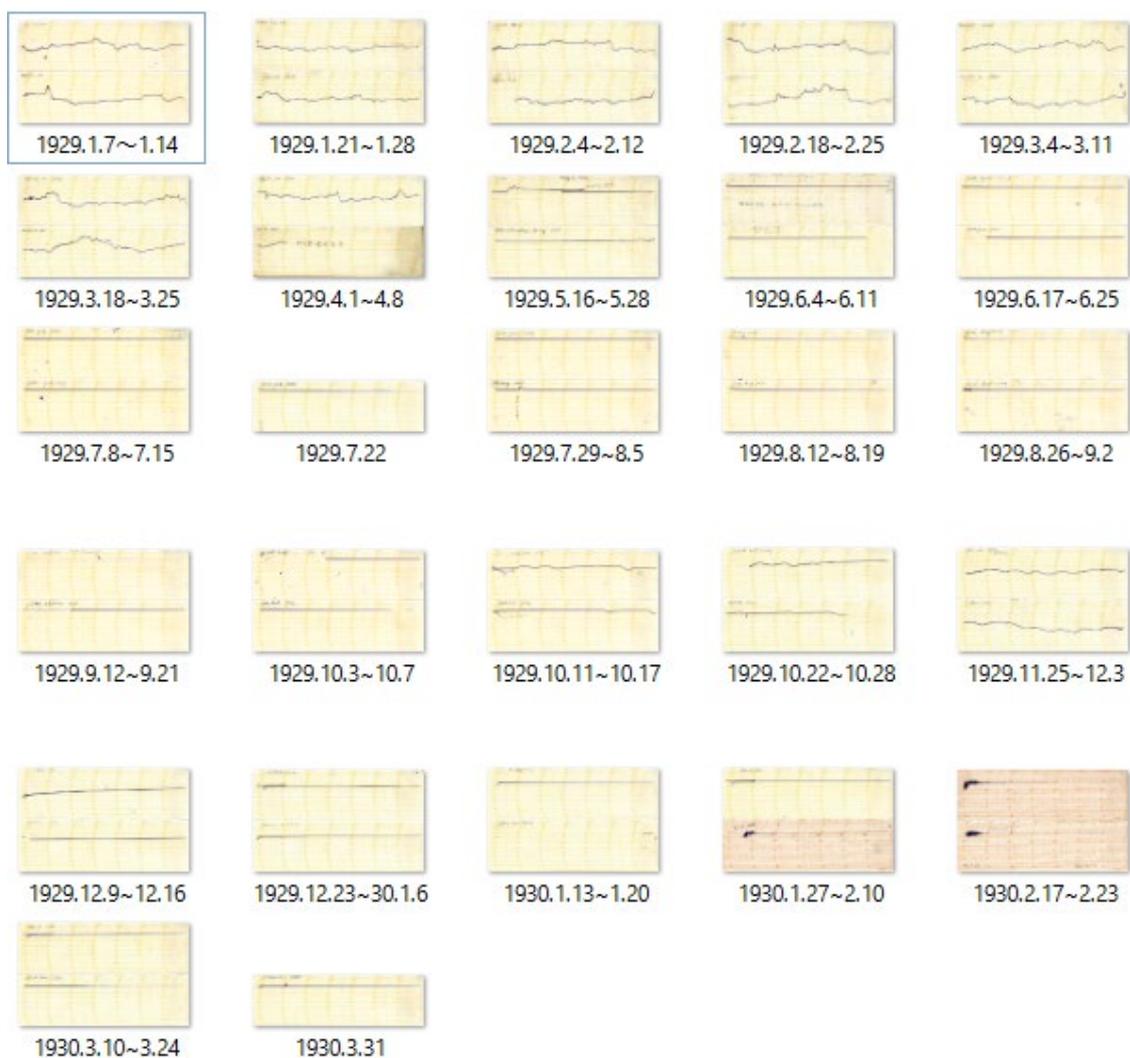


図1 1929年(昭和4年)1月7日～1930年(昭和5年)4月6日の記録紙  
1年3か月の記録だから、全部そろっていれば64～65枚あるはずだが54枚が存在している。現存する記録紙の中にも記録のない欠損部分もある。

1929年1月7日からの14枚は明らかに湿度の記録と思われるが、それ以降はどうも奇妙に思われる。湿度の記録にしては変化が全くないのはおかしいと思うのだが・・・

まずは、最初の14枚を見てみる。

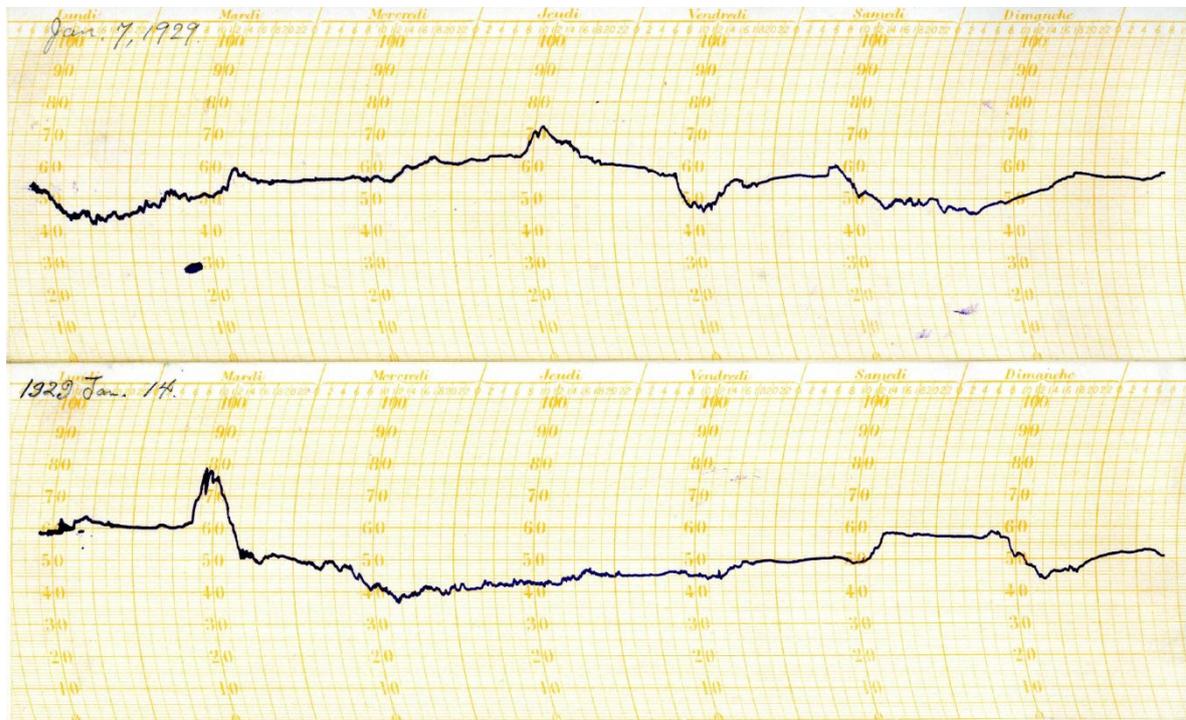


図1 1929年1月7日～、14日～ の2週間分

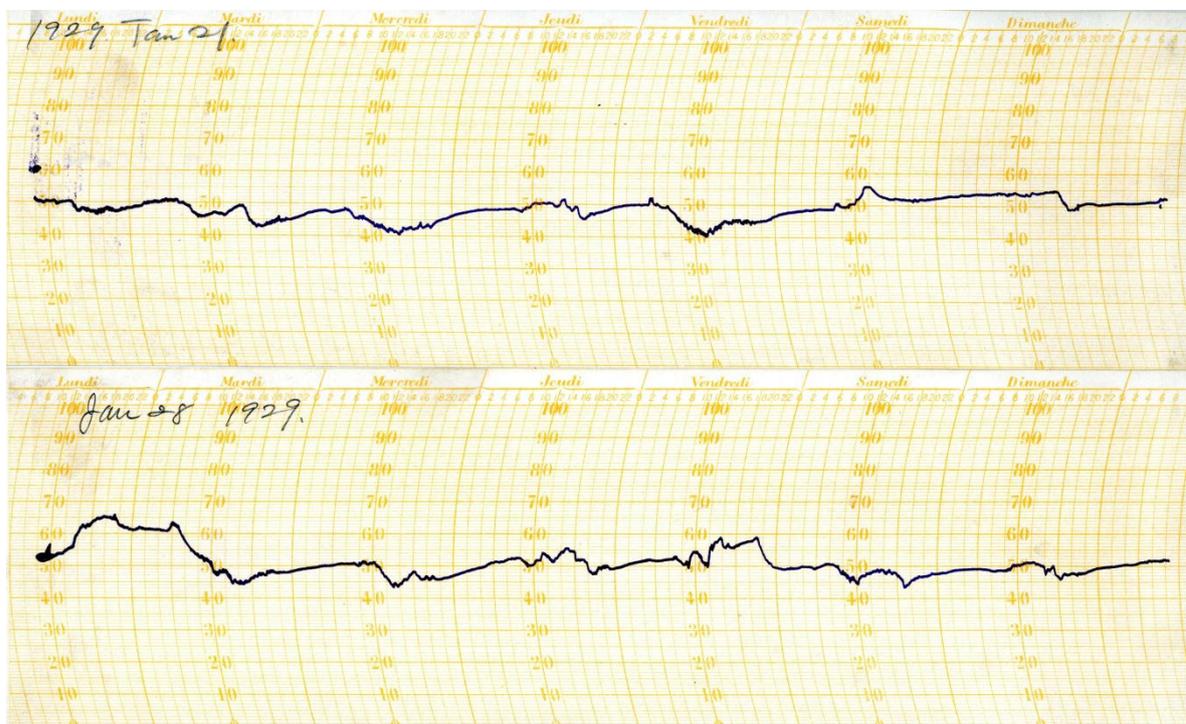


図2 1929年1月21日～、28日～ の2週間分

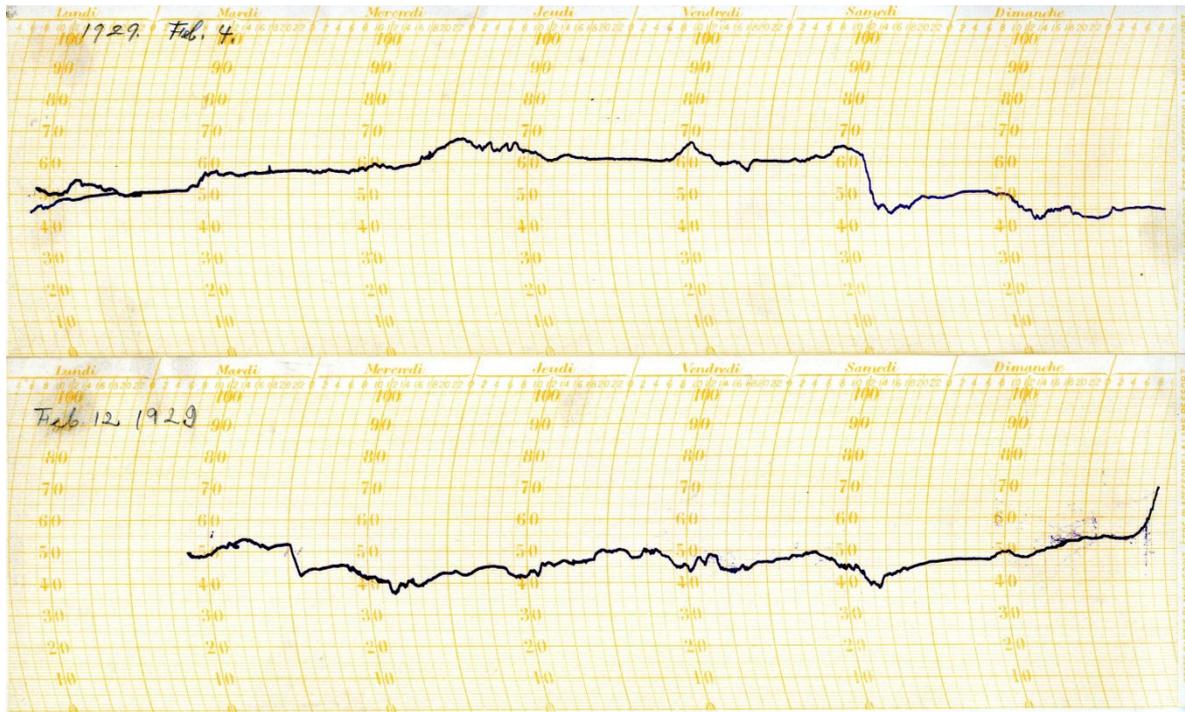


図3 1929年2月4日～、12日～ の2週間分

図3の記録には、2重になったところ、最初の部分がないなど不規則であるが、これは2月11日分が2月4日からの記録紙に書かれ、次は本来、2月11日から始まるところが12日からになっている。

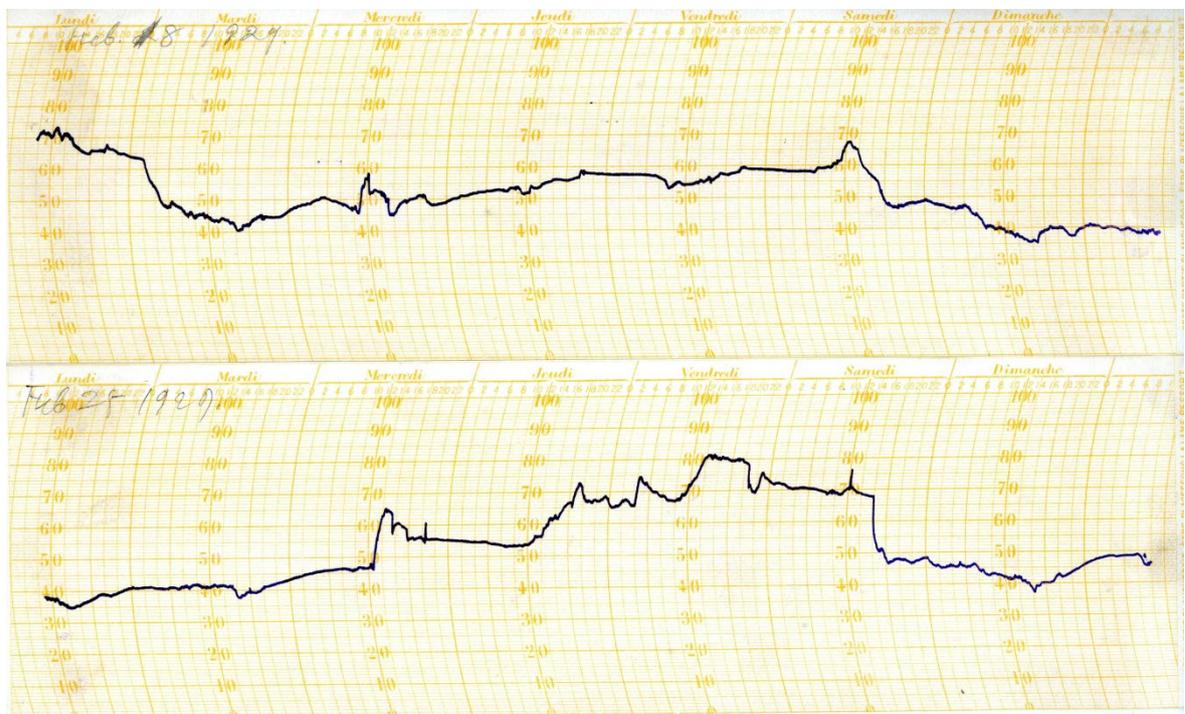


図4 1929年2月18日～、25日～ の2週間分

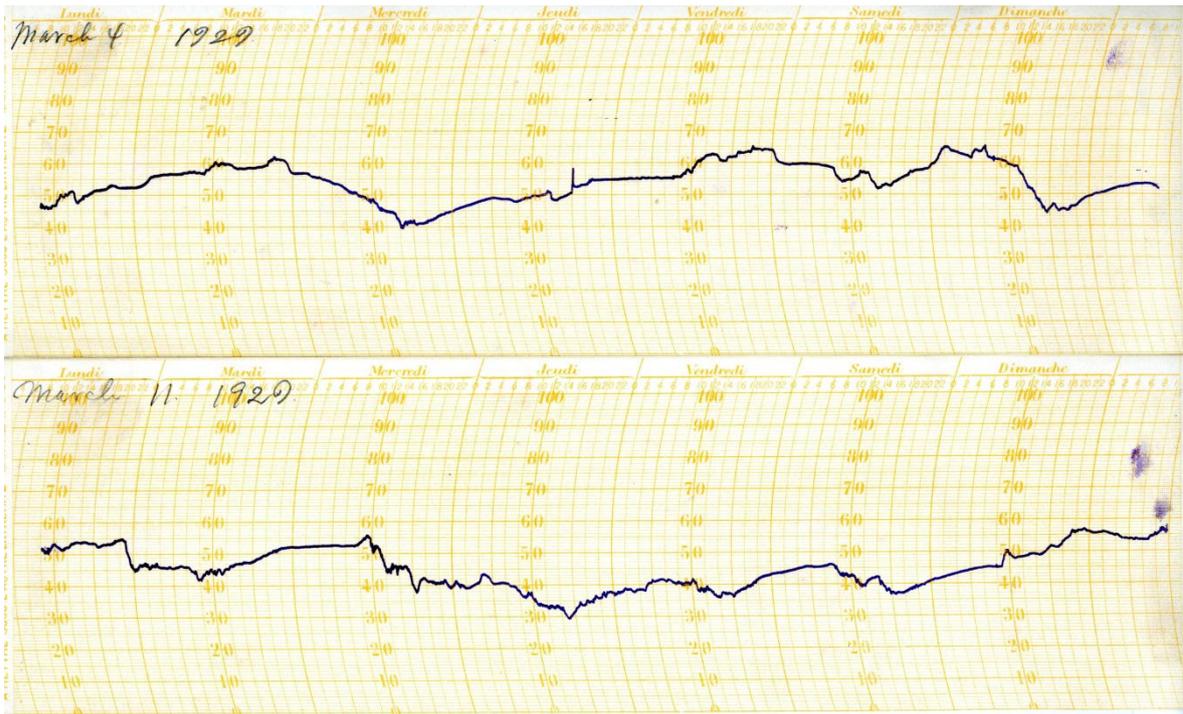


図5 1929年3月4日～、11日～ の2週間分

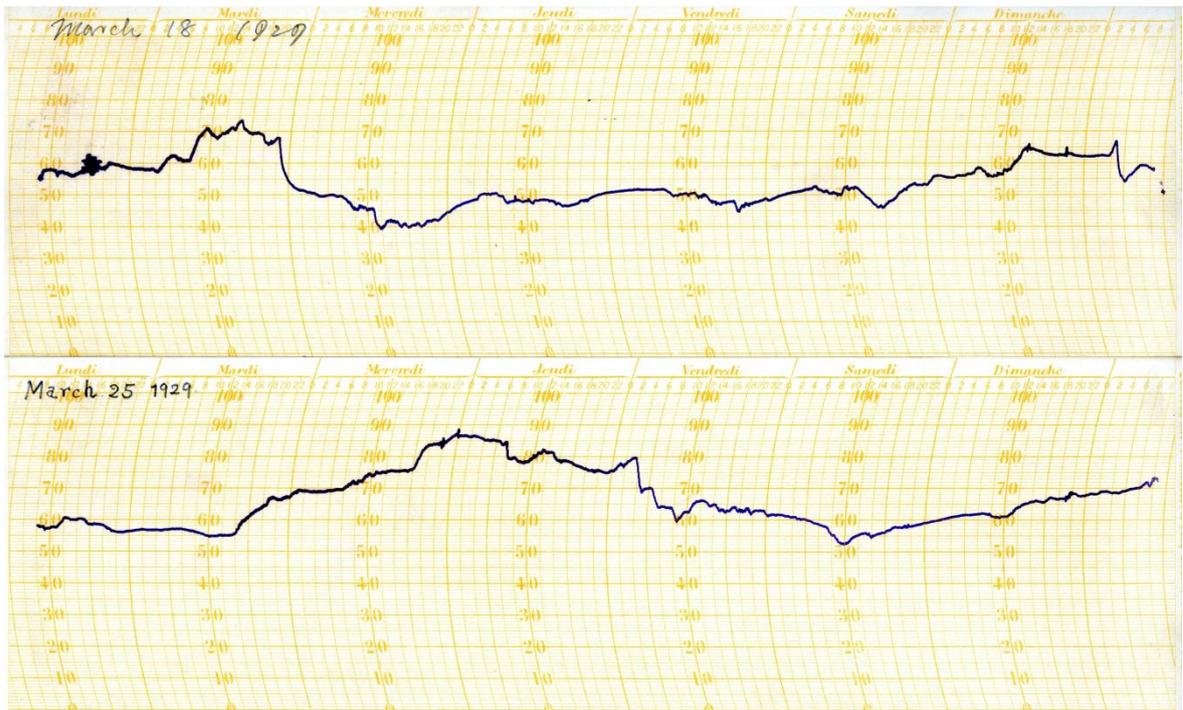


図6 1929年3月18日～、25日～ の2週間分

図5、図6の4週間分については正常な記録である。25日からの記録の最終日は3月31日であるから、次葉に正常に引き継がれる。

図7までは、子午環観測室の湿度であろうか。このような変化なら奇妙には感じないのだが・・・・。

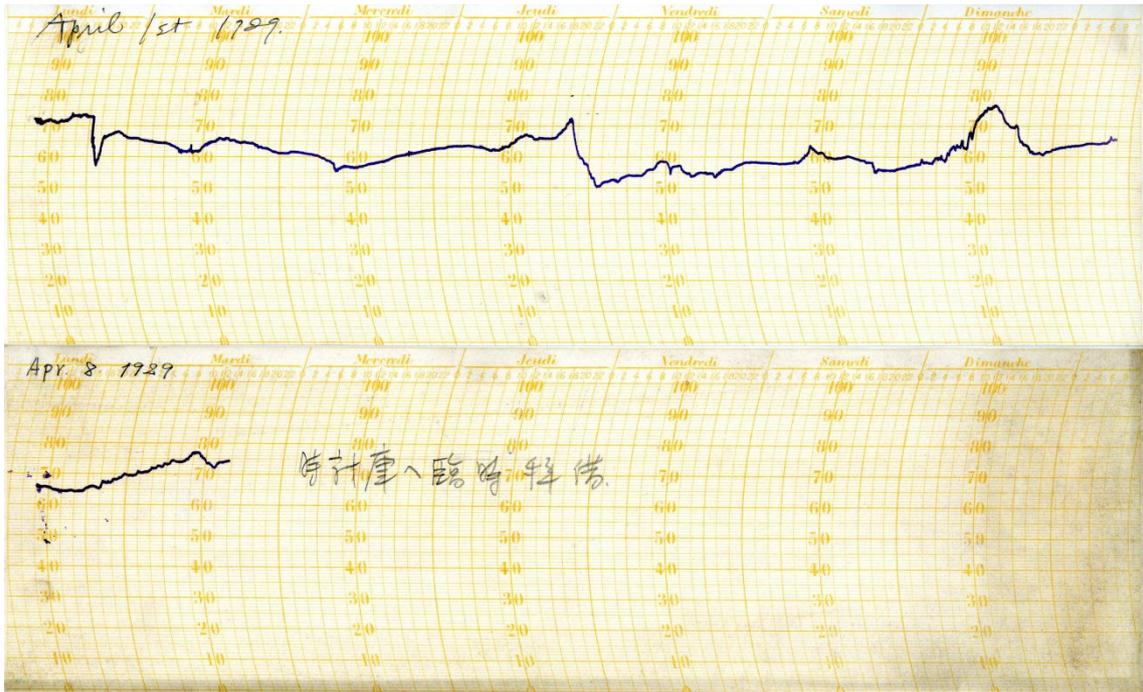


図7 1929年4月1日～、8日～ 4月9日で途切れている

図7の4月9日の部分に、「時計庫へ臨時秤備」と読めるメモ書きがあり、この記録計を時計庫に異動したと思われる。

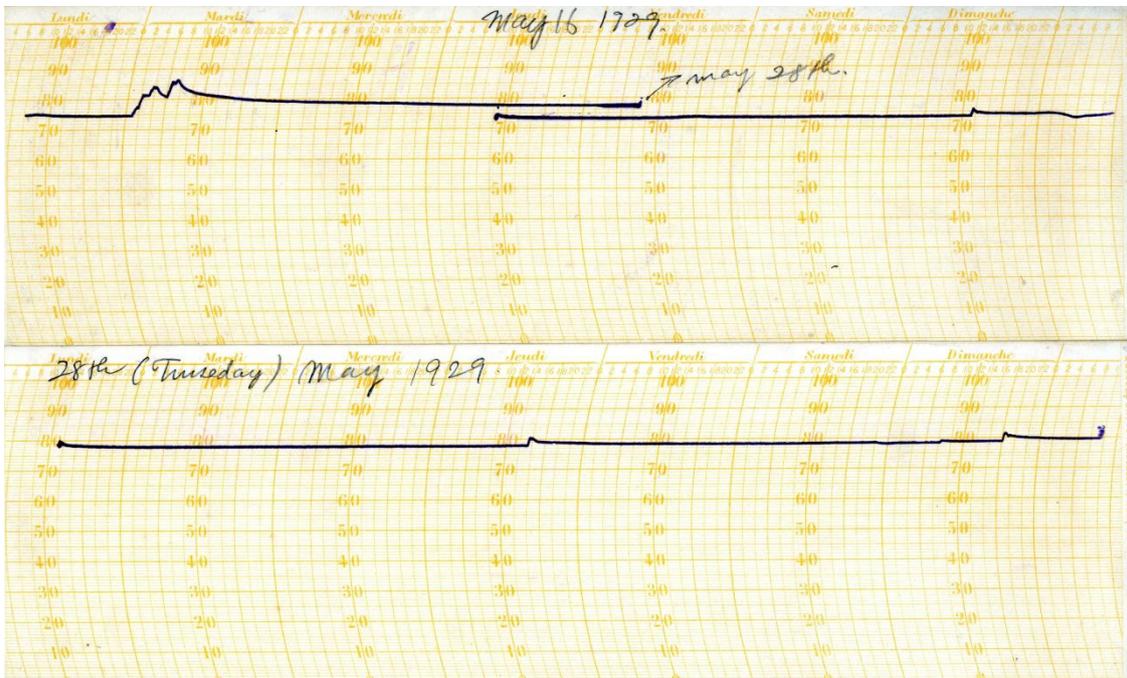


図8 1929年5月16日～、28日～ の記録

図8の上段は、図7の最後である4月9日から、5週間を経た5月16日から始まり、5月28日で終わっている。図8の下段は、上段と4日分ダブっているようである。

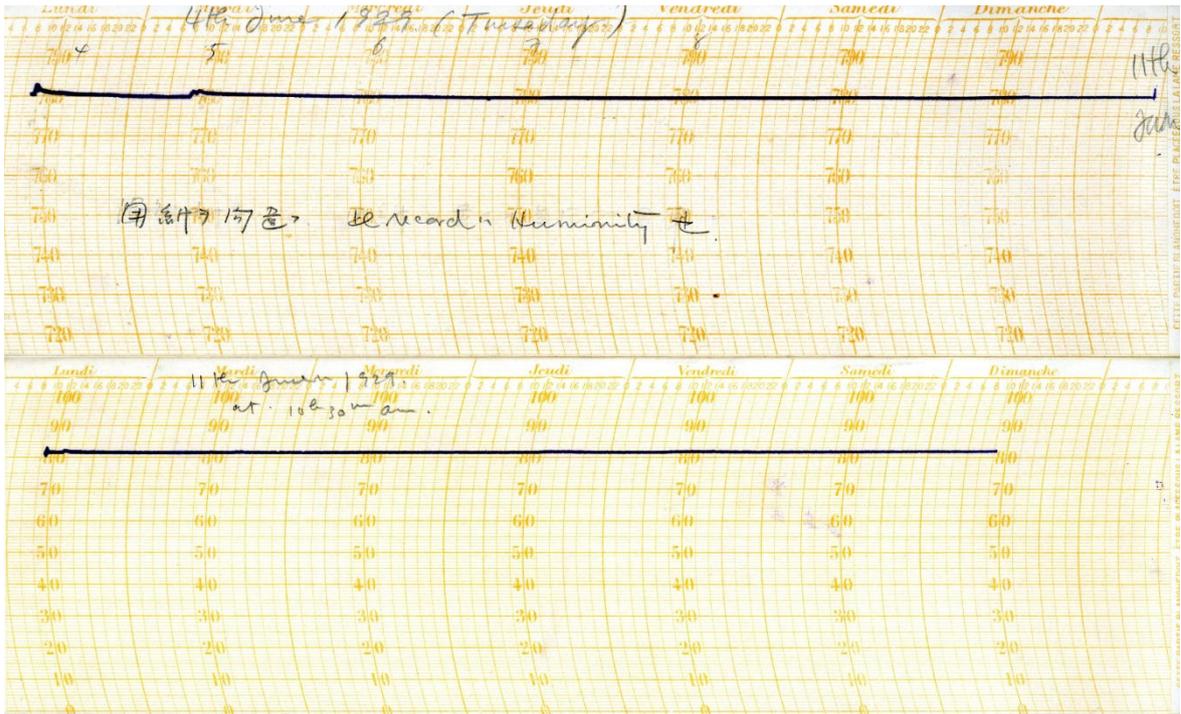


図9 1929年6月4日～、11日～ の13日分の記録

図9の上段に記録紙を間違えてセットしたと記されており、目盛りが720～790とある。また、「此 record は Humidity 也」とメモ書きがある。それにしてもこのように変化がないのは不思議である。

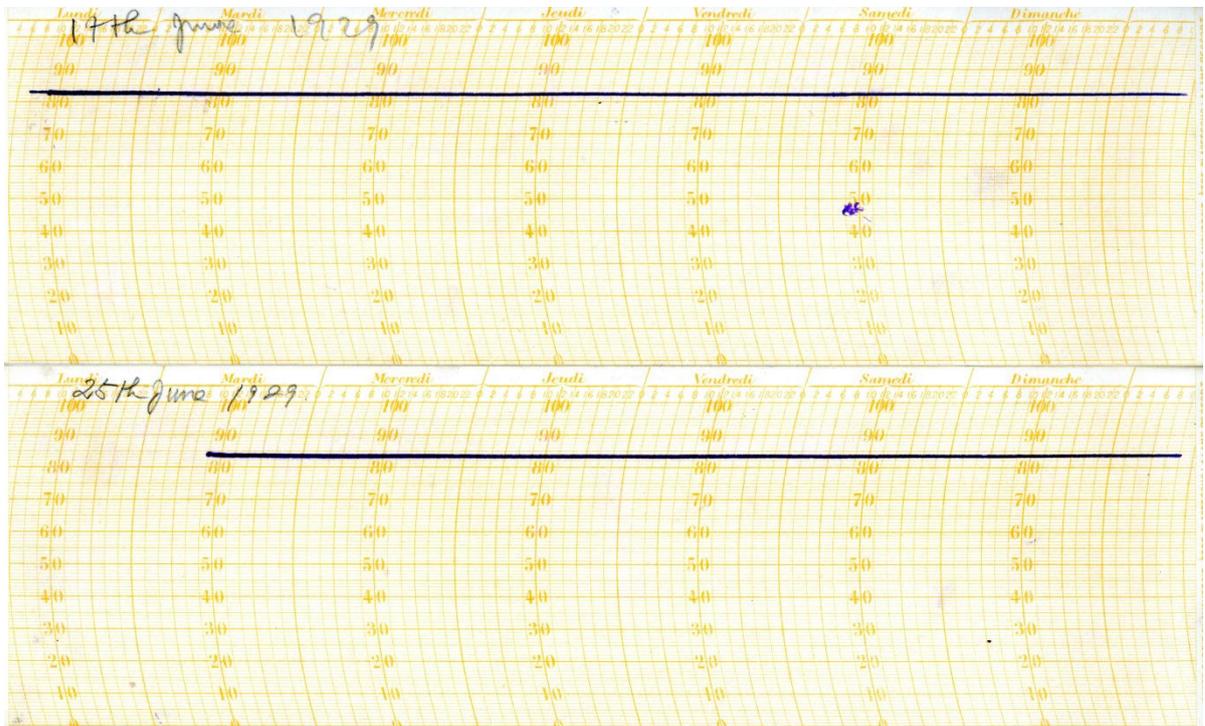


図10 1929年6月17日～ 25日～ の13日分の記録

図10 下段は、6月24日から始まるところが、記録紙交換が1日遅れている。

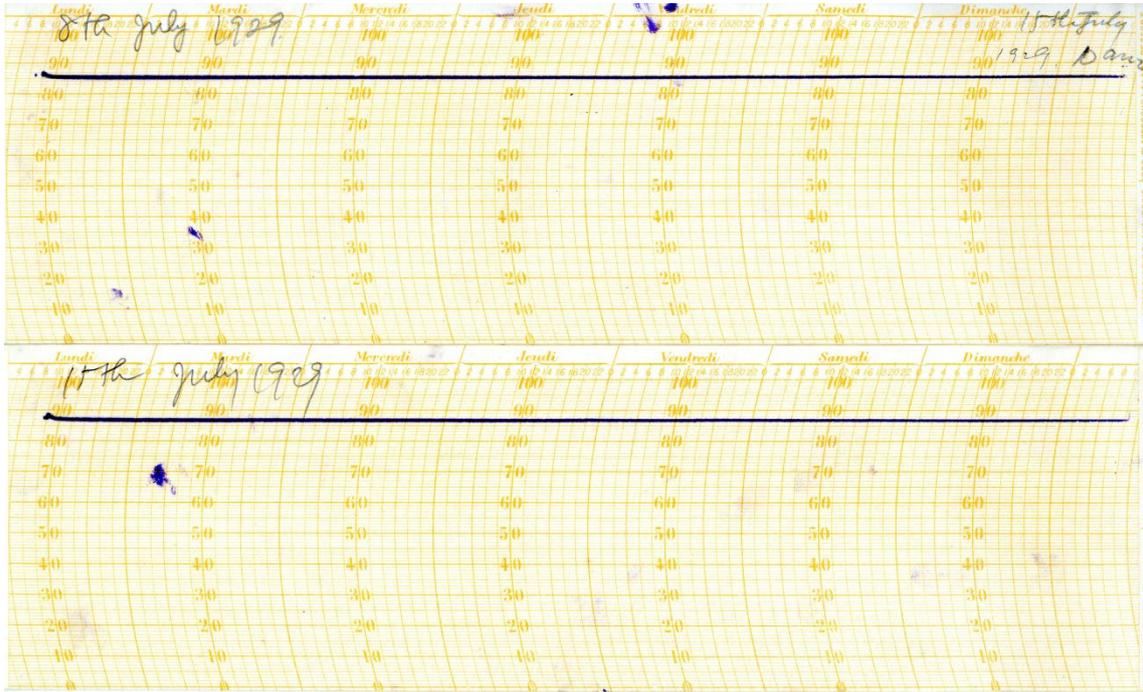


図11 1929年7月8日～、15日～ の2週間の記録

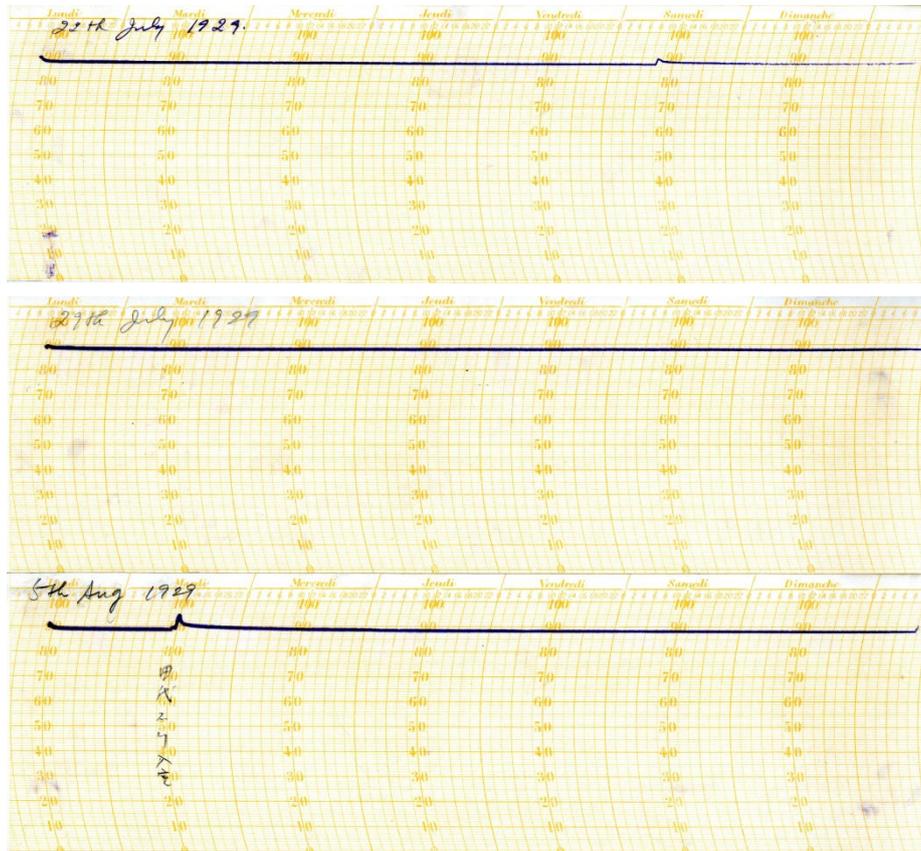
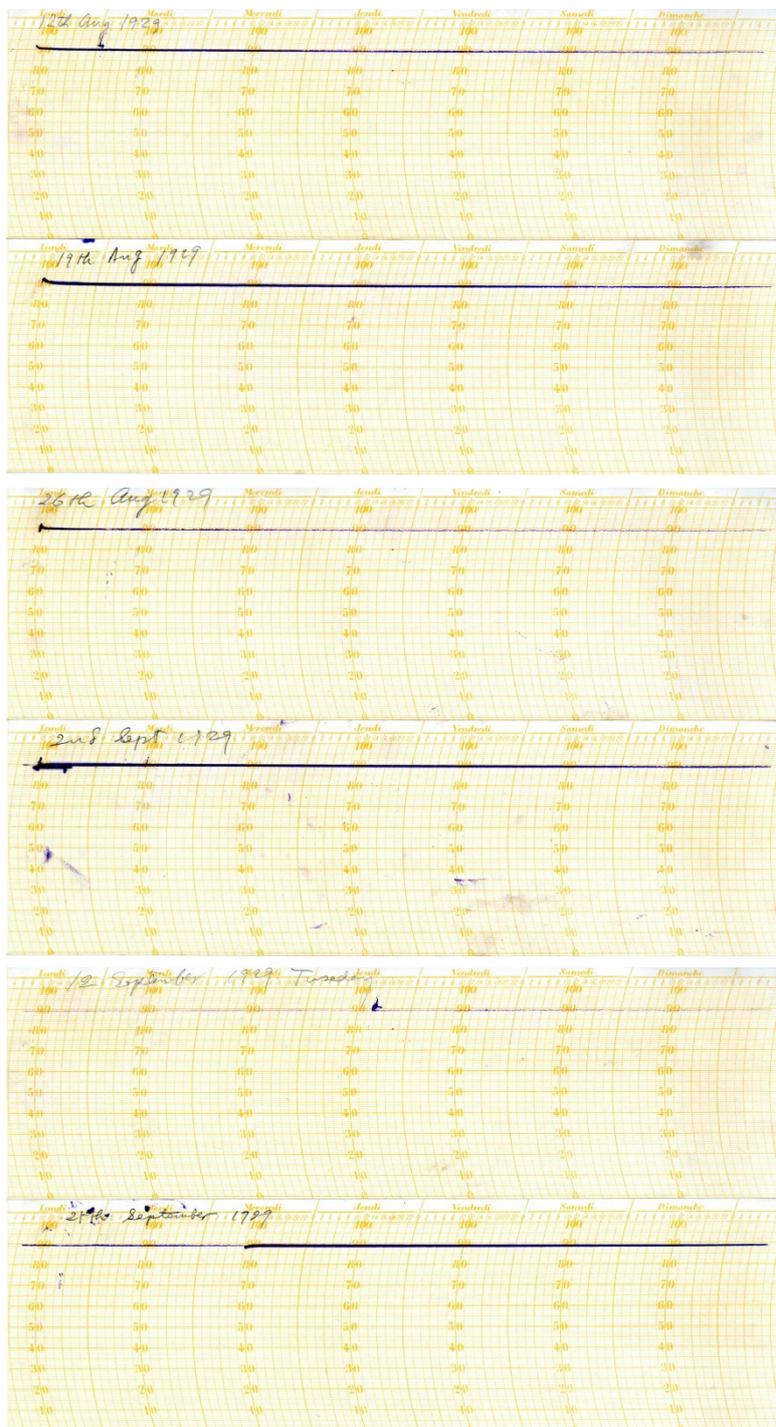


図12 1929年7月22日～、29日、8月5日～ の5週間分の記録

図12の8月5日からの記録には、6日に田代、石川が入室とあり、ピクッと湿度が上がっているのが読み取れる。これほど湿度変化の少ない環境が作れるものかと驚くばかりである。



8月12日～、19日～

8月26日～、9月2日～

9月12日～、21日～

図13 8月12日、19日、26日、9月2日、9月12日、21日からの6週間の記録  
 このように図8以降の湿度記録がほとんど変化していない環境は驚くばかりである。ど  
 のような閉じられた空間で測定されたのであろうかと思う。

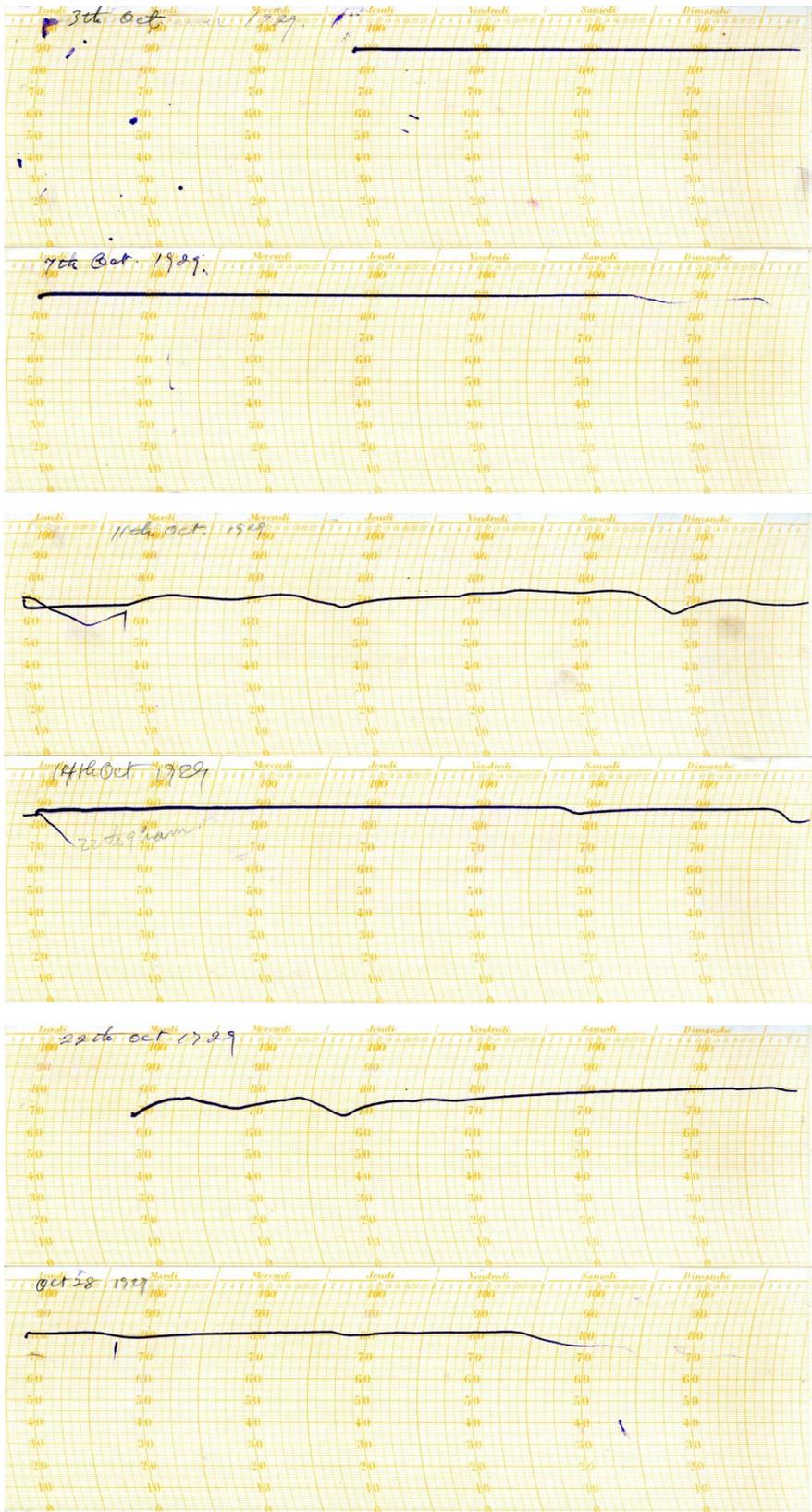


図 14 10月3日～、7日～、11日～、17日～、22日～、28日～ の記録

図 14 の、10 月 11 日分の記録は、その前の 10 月 7 日から続いた記録ではないこと、この 11 日分から湿度に変化が現れることから、別の場所のデータではないかと思われる。

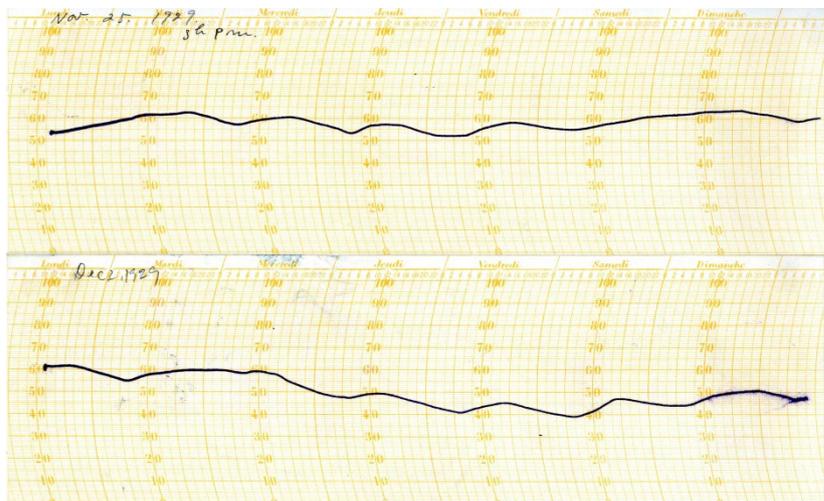


図 15 1929 年 11 月 25 日～、12 月 2 日～ の 2 週間分のデータは明らかに閉じられた空間の湿度変化とは思えない。

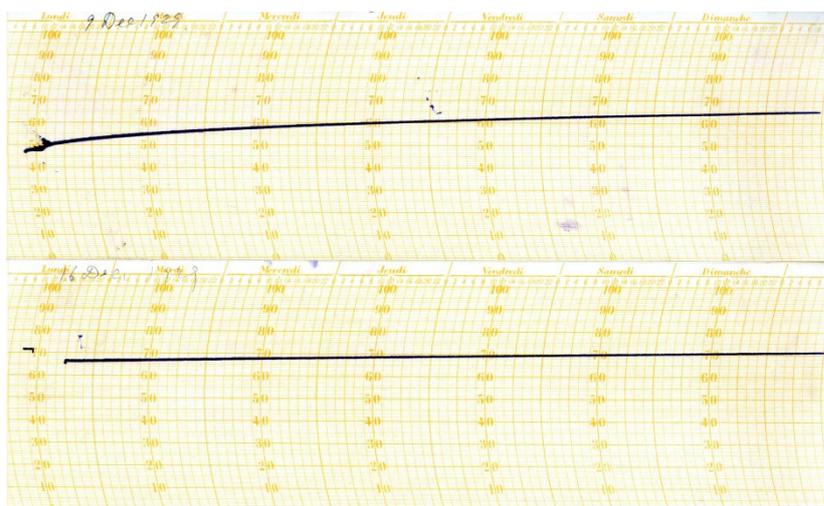


図 16 1929 年 12 月 9 日～に再び閉じられた空間に記録計が移され、12 月 16 にの週にわたってその湿度になじんでいく様子と思われる。

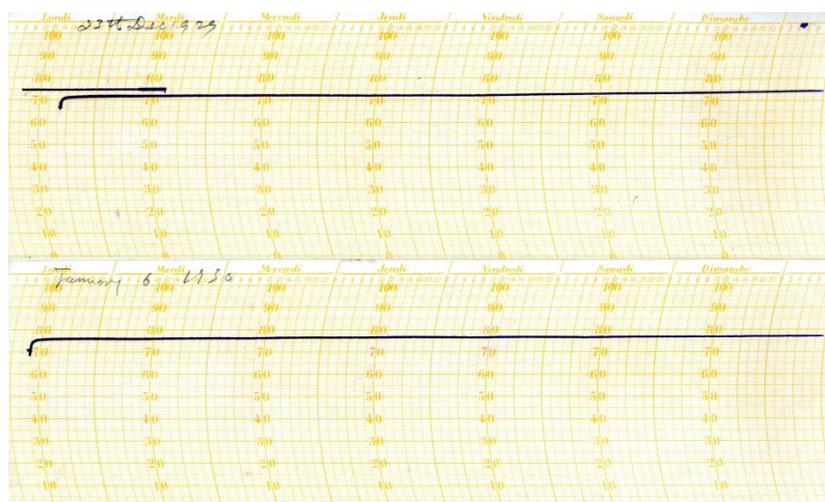


図 17 1929 年 12 月 23 日～、1930 年 1 月 6 日～ の記録

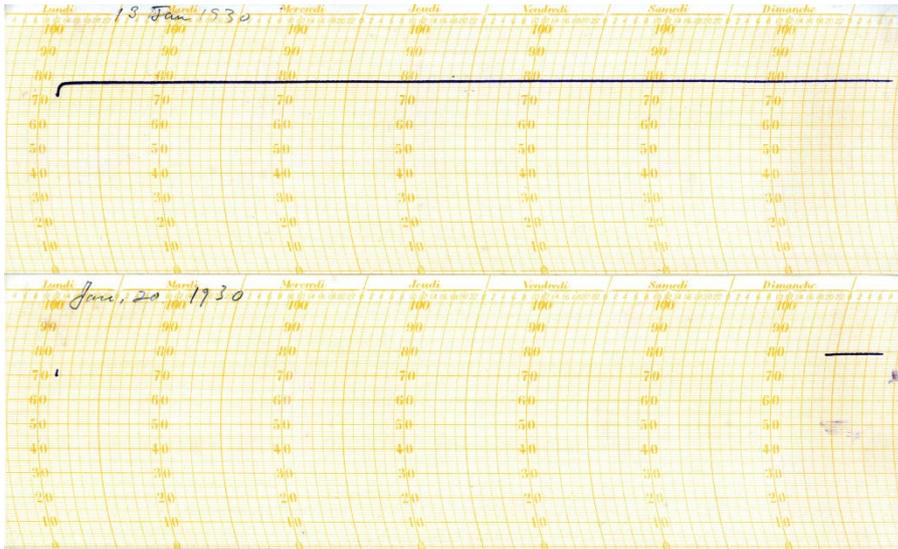


図18 1930年1月13日～、20日～の2週間の記録。1月20日からの記録はほとんど欠損である。

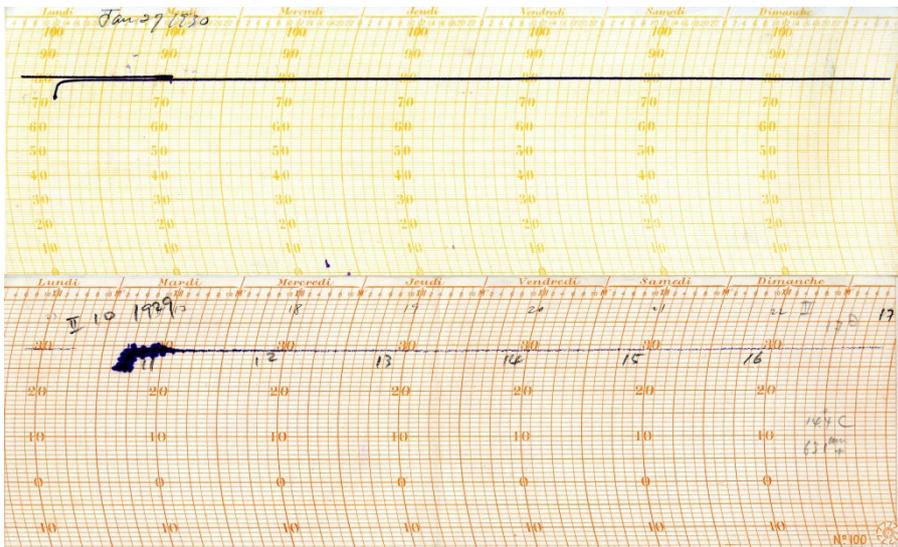


図19 1930年1月27日～、2月10日～の記録であるが、連続性がない。

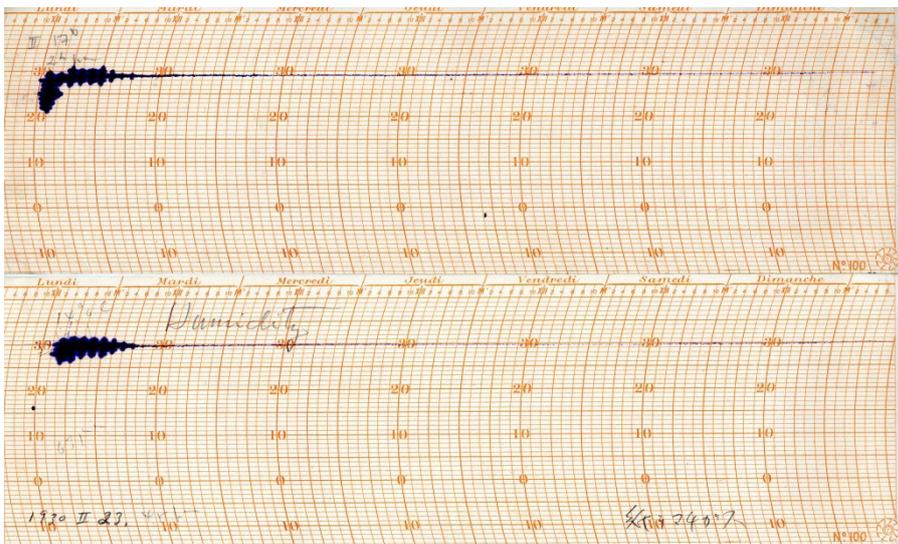


図20 1930年2月17日～、23日～の記録

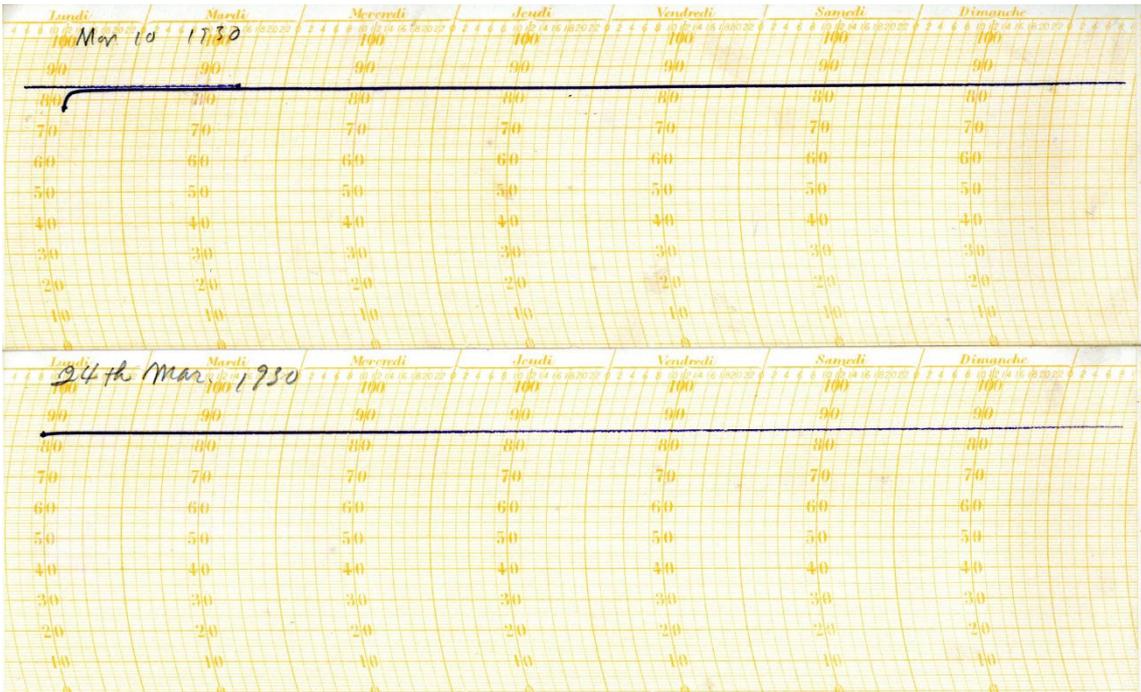


図 21 1930 年 3 月 10 日～、24 日～ の 2 週間の記録

図 21 の 3 月 10 日～ の記録は前の記録と連続していない、また 24 日～ の記録とも連続性がない。

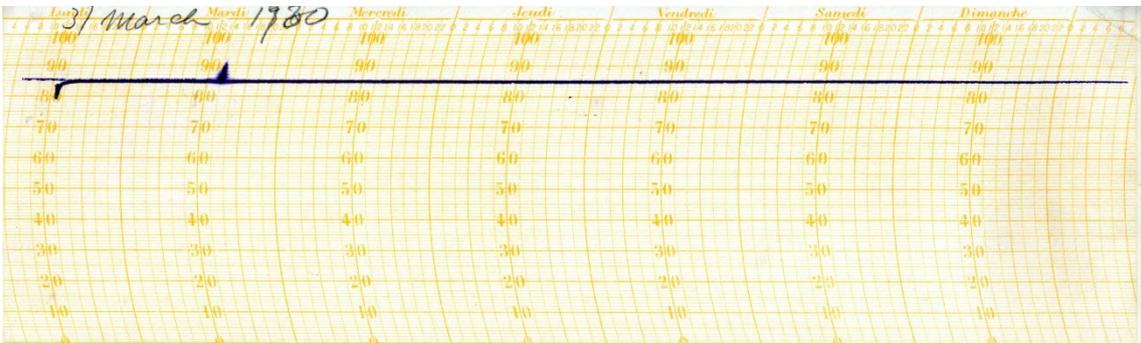


図 22 3 月 31 日～ の記録は、図 21 の 3 月 24 日からの記録に続いている。

このように、今回発見された湿度の記録はほぼ 15 か月にわたる記録ではあるが、完全には連続していない。その上、測定場所も変えられたと思われる。

しかし、これほど湿度の変化がない場所があるのは、筆者には驚くばかりである。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)